

投稿規程

1、この規程は、立命館大学教育開発推進機構が編集・発刊する立命館大学教育開発推進機構紀要『立命館高等教育研究』（以下『立命館高等教育研究』と称す。）に関する事項を定める。

2、紀要の目的と位置づけ

・目的

学園内の組織ならびに個々の教職員の教育に関する研究成果や実践報告を収集・蓄積・発信することにより、組織的なFD活動、SD活動の進展に寄与することを目指す。

・位置づけ

- ① 学術研究誌と報告書の両方の役割を担う。
- ② 学園内の教育に関する論文等の収集・蓄積・発信を行う。
- ③ 正式な刊行物として、信頼性の高い情報を掲載する。
- ④ 学園内の組織的なFD活動、SD活動の進展に寄与する。
- ⑤ 本機構のアカウンタビリティを果たす。
- ⑥ 教育に関する研究活動に利用可能な資料を提供する。

・名称

和名：立命館高等教育研究 英語名：Ritsumeikan Higher Educational Studies とする。

3、『立命館高等教育研究』は、立命館大学および立命館学園をはじめとした大学や教育機関の教育や教育実践に係る論文および報告などを掲載する

4、掲載内容の区分は、特集、論文、事例研究、実践研究、報告、実践レポート、資料紹介、書評、その他とする。

特 集：本学独自の取り組みや課題を集約し原稿として議論するもので、立命館大学教育開発推進機構紀要編集委員会（以下「編集委員会」と称す。）が執筆を依頼するもの。

論 文：教育に関する研究、調査で、教育開発推進機構の活動に関連する内容を含むもの（査読有）。

事 例 研 究：大学教育を対象として、事例の調査分析などを通じて、大学教育の改善に有益である新たな視点の提示や具体的な提言を行ったもの（査読有）。

実 践 研 究：授業研究や教育実践、教材開発に関しての効果検証を含む内容で、教育開発推進機構の活動に関連するもの（査読有）。

報 告：教育に関する講演記録、授業紹介などで、教育開発推進機構の活動に関連する内容を含むもの（査読有）。

実践レポート：教育実践における優れた組織的な取り組みを教育開発推進機構と協働して文章化して公表していくもの（査読無）。

資 料 紹 介：教育および教育実践分野に関する研究・実践で、教育開発推進機構の活動にとって

有益な資料となるもの（査読無）。

書 評：教育開発推進機構の活動分野に関連する研究・実践をまとめた原著で評論する意義のあるもの（査読無）。

②投稿時は投稿者で判断した投稿区分で決定し、投稿受理後、投稿者の都合による区分の変更は認めない。ただし、査読の結果、編集委員会が認める場合は、投稿区分が変更することができる。

- 5、 紀要の目次および掲載論文等は、原則として教育開発推進機構のホームページ並びに立命館大学機関リポジトリ「R³」で公開する。ただし、執筆者の許諾がない場合または編集委員会が特別の事情を認めた場合は、公開しないことがある。
- 6、 立命館大学教育・学修支援センター会議のもとに、編集委員会を設置する。編集委員会は以下に定めるとおり、原稿公募や掲載可否の権限および編集責任をもつ。投稿者は、原則として立命館大学および立命館学園の教職員とする。ただし、編集委員会が投稿を認めた場合は、共著者に立命館大学および立命館学園の教職員以外の者を含めることはできるが、第1執筆者を務められるのは立命館の教職員とする。投稿原稿の採否は、編集委員会が委嘱する査読者の審査に基づき、編集委員会が決定する。
- 7、 掲載順序および体裁の指定などについては、編集委員会で行い、投稿者に連絡する。
- 8、 原稿は和文または英文の未発表論文であるものに限る。ただし、口頭発表及びその配布資料はその限りではない。
- 9、 本誌に掲載された論文等の著作権については、本学に帰属する。また、著作者自身が自己の著作物を利用する場合には、本学に申し出ること。掲載された論文等は本学が認めたネットワーク媒体に公開される。『立命館高等教育研究』に掲載された著作に関しては、編集委員会の判断により立命館大学教育開発推進機構が認めるホームページ等のメディアにおいて公開することができる。
- 10、 第1執筆者となる論文・事例研究・実践研究・報告の応募は、1原稿のみとする。
- 11、 原稿は、編集委員会が別に定める執筆要領に従って記述する。
- 12、 研究にあたって、個人あるいは組織等から非公開の資料、情報、データ等の収集を行った場合は、その研究成果の発表方法について、データの提供元から明確な同意を得た上で、そのことを投稿原稿の本文中に明記しなければならない。また、研究のために収集、作成した資料、情報、データ等で、個人を特定できるものは、当該者の同意なしにこれを他に洩らしてはならない。なお、本学に所属する執筆者の場合は、本学の研究倫理指針に則り、必要に応じて倫理審査委員会に申請を行い、承認を得ておくこと。執筆者が他大学・機関等に所属する場合は、

所属先に倫理審査に関する委員会がある場合は、その承認を得ておくことが望ましい。

13、本規程の改廃は、教育・学修支援センター会議が行う。

【附則】

本規程は 2008 年 6 月 23 日から施行し、4 月 1 日から適用する。

附則（2011 年 5 月 30 日文言・表現の修正に伴う一部改正）

本規程は 2011 年 5 月 30 日から施行する。

附則（2013 年 2 月 18 日文言の修正に伴う一部改正）

本規程は 2012 年 4 月 1 日から施行する。

附則（2013 年 6 月 3 日文言の追加に伴う一部改正）

本規程は 2013 年 4 月 1 日から施行する。

附則（2014 年 2 月 24 日文言の追加に伴う一部改正）

本規程は 2014 年 4 月 1 日から施行する。

附則（2015 年 5 月 18 日文言の追加・修正に伴う一部改正）

本規程は 2015 年 5 月 18 日から施行し、4 月 1 日から適用する。

附則（2016 年 10 月 24 日文言の追加・修正に伴う一部改正）

本規程は 2016 年 10 月 24 日から施行し、4 月 1 日から適用する。

附則（2021 年 04 月 12 日投稿区分の整理に伴う一部改正）

本規程は 2021 年 4 月 1 日から適用する。

附則（2024 年 4 月 8 日文言の追加・修正に伴う一部改正）

本規程は 2024 年 5 月 1 日から適用する。

附則（2025 年 3 月 17 日文言の追加・修正に伴う一部改正）

本規程は 2025 年 4 月 1 日から適用する。

*【参考】立命館大学研究倫理指針：

<http://www.ritsumei.ac.jp/file.jsp?id=230387&f=.pdf>

*投稿の際には、当機構 HP <http://www.ritsumei.ac.jp/itl/> 内『立命館高等教育研究』の募集要項で最新の執筆要領ならびに投稿規程を確認してください。